

おおだて

市立総合病院・市立扇田病院

病院だより

第4号

おおだて病院だよりは、
市民・患者さんと
市立総合病院・市立扇田病院を
つなぐ広報誌です

2011.8

No. 4

発行者：大館市病院事業管理者 佐々木睦男
編集：大館市立総合病院 広報委員会
住所：大館市豊町3-1(総合)
大館市比内町扇田字本道端7-1(扇田)
電話：0186-42-5370(総合) 0186-55-1255(扇田)
URL：http://www.odate-hp.odate.akita.jp(総合)
http://www.oogita-hp.jp(扇田)

届

き

あ

な

の

願

足・腰
こいこ
元気い先
N. Higashimura

一のたのめがすは
すすすすすすすす
すすすすすすすす
すすすすすすすす

病院機能評価の認定に向けて

3月11日に起きた未曾有の大地震と大津波、そしてまさかの原発事故。いまだ復興が遅々としか進まない被災地の皆様には心よりお見舞い申し上げますと共に犠牲となられた方々のご冥福をお祈り致します。また当院においても物流の関係上、投薬の期間の短縮や手術の延期、余震による停電のため休診等、市民の皆様には大変ご不便をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。そのような中、大きな混乱も無く、病院運営ができたのは一重に市民の皆様のご協力があればこそで、深謝に堪えません。ありがとうございました。

さて来年9月、財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定を受けたいと思っております。これは第三者の目で病院の現状を評価していただき、改善すべきところは改善し、より良い病院を目指すものです。全国の病院の約3割に導入され、本県でも17施設が認定されております。このようにして職員一丸となって、皆様が安心、満足できる病院作りに向かって行きたいと思っております。



市立総合病院
院長

たておかひろ
館 岡 博

扇田病院は写真館！

扇田病院を訪れたかたは院内のあちらこちらに、沢山の写真が飾られていることに気付くと思います。当院には写真を愛好する職員が数名居り、善意で写真を提供していただいています。

佐藤先生(外科)の撮影した野鳥の写真、菅原技師長(放射線科)の撮影した鉄道写真は、二人の被写体に対する愛情や思いが写真からあふれるようで、通りかかる方々につかの間の安らぎをもたらしています。写真に切り取られた一瞬の時間に、写した人と見る人の思いが投影され、一編の物語のように語り掛けてきます。

当院は昭和58年に今の場所に建てられ、既に四半世紀以上が経過しました。歳月を経て建物は古くなりましたが、たくさんの方々の努力のおかげで気持ちの良い療養環境が維持されています。これからも「地域の皆様の心の支えとなる病院」を目指して努力していきたいと思えます。

扇田病院にお越しの際には、ぜひ立ち止まって写真をご覧ください。



市立扇田病院
院長

おおもとなおき
大 本 直 樹

DPC病院のはなし ④

DPC制度は病院の「ものさし」みたいなもの

DPC委員会 高橋 秀ひで 身み(副院長)

皆さんは、DPC制度は(病院の)“収益”を上げるための方策だと思っていますか？

答えは、「イエス」でもあり、「ノー」でもありません。

「イエス」と言うのは、医療器材や医薬品管理などのコスト管理をしつかりとやっつムダのない医療を心掛けると同時に、何と言っても診療内容の効率化、すなわち急性期疾患の入院期間を(合併症や余病の治療などで)「ドラドラ入院」にしないことが、DPC制度の収益を上げることにつながるからです。もつとも、初めのうちはそううまくはいかないでしょう。種々の理由で入院期間が延びてしまう患者さんは、必ず何割かいらつしやることでしょう。また後方ベッド(病気が慢性期へ移行した患者さんを受け持つ医療機関)が不足している当地域では、転院が必要な場合でも転院できないケースがやや目立つかもしれません。また公的病院として、私立病院のようにいわゆる不採算部門を切り捨てることもできません。さらに現実的には、初期のうち特にその傾向があるとと言われておりますが、たとえ入退院の「回転」が早くなったところで、今度は空きベッドが必要以上に発生してしまい、収益が思ったように伸びないことすらあり得ると思えます。

では、「ノー」と言う訳は何でしょうか。これは院長が職員に向かって繰り返し言っていることですが、DPC制度は、単に

病院への診療報酬の支払い方式のことを言うのではなく、その背後に医療の質や「目に見える”化(患者さんへの説明責任と言ってもよい)」、ひいては「病院の姿勢」そのものを測る尺度を含み持つということです。今年2月、当院で講演をいただいた、この道の第一人者、武藤正樹氏(国際医療福祉大学大学院教授)も「DPCは病院自体のものさしである」と言っておられます。DPC導入に関して、院長もむしろこのことを重視しているのです。

まだ流動的なDPCの制度ですが今後ますます、①望ましい医療の実現(医療の質的向上、透明化、効率化、標準化)、②社会や地域の実情に応じた機能の実現(病院の先進性や総合性、重症患者の診療能力など)の2点が、病院の評価にいつそう色濃く反映される方向にあります。

病院の評価が向上すれば、当院固有の“係数”が加算され診療報酬にも如実に反映されるでしょう。その他、チーム医療の熟成度、研修病院としての充実度、他の医療機関との連携状況など、病院機能のほとんど全ての面を審査機関が評価します。これら診療内容や病院の「有り様」は、毎月、国の審査機関に伝えなければなりません。言わば「まら裸」状態です。そして前にお伝えしたように、他院(DPC病院)の状況も手に取るように私たちに開示されます。私たちは他院の評価内容を知って、目を見張ることになるのでしょうか…。

(続)

看護部

東日本大震災被災者への災害支援ナースとしての活動報告

看護部手術室 小林 文佳



大館地区支部の災害支援ナース（右端が筆者）

災害支援ナースとは、「災害支援ネットワークシステムに基づき、都道府県看護協会に登録し、看護職能団体の一員として被災地に派遣されるシステムである」と日本看護協会が定義しています。災害時に、日本看護協会と県看護協会が連携してボランティア派遣する協会会員の看護者のことを言い、被災地の医療施設や避難所などで活動します。県看護協会会員で5年以上の臨床経験を持った者が、協会主催の災害研修を修了した後、施設長の承諾を得て登録し得られる個人資格です。現在、大館地区支部では総合病院2人、扇田病院3人、秋田労災病院1人が登録しており、そのうちの5人が今回岩手県での支援活動を行いました。

私は、3月21日（震災10日目）から4日間、岩手県立中部病院で支援活動を行ってきました。長期的な被災支援が必要な状況に対し短期間でしたが、災害急性期に被災者が健康レベルを維持できるよう適切な医療と看護を提供することは勿論、被災した看護職の心身の負担を軽減するための一助となることができたと考えています。

災害支援ナースとしての活動のほかにも総合病院からは、秋田県災害医療救護チームの一員として、4月1日から6日間、医師1人、看護師2人、事務職員1人の計4人が岩手県釜石市で避難所の巡回診療活動を行いました。

総合病院は災害拠点病院に指定されています。今回の経験により、今後いつ発生するか分からない大規模災害に対して、地域を巻き込んだ災害訓練の必要性を再認識しました。

紹介 します

小児科外来



小児科は平成21年度から新体制になり、患者さんに受診してよかったと思ってもらえる科になることを目指して日々診療しています。その取り組みとして、3つのことを始めました。

①外来トリアージシステムの導入

2年前に当院の小児科医師が半減しました。これによる最大の問題は、病棟急変時の対応などで外来待ち時間が長くなるを得なくなったことです。外来制限を行うことも考えましたが、皆さんに迷惑をかけたくないとの思いから、外来の診察順番を受け付け順ではなく、病気の緊急性の高いお子さんから診察することにしました。

②4か月検診で股関節エコー検査の導入

股関節脱臼の患者さんは最近少なくなってきていますが、若い医師たちが経験する機会が少なくなり、見逃しが発生する危険性が高まりました。そのため、ダブルチェックを兼ねてエコー検査でも診断することにしました。

③予防接種、健康診断のインターネット予約導入


今までは電話予約だけで不便だったのではないかと思います。そこで某レンタルビデオ店にも負けないように24時間インターネット予約を開始しました。病院ホームページもしくは携帯電話からも予約可能です。

これからも総合病院小児科を温かい目で見守っていただければ幸いです。




携帯電話予約用
QRコード


整形外科 よこやま とおる
横山 徹
地域のみなさんといっしょに、よりよい整形外科医療をつくっていききたいと思ひます。




耳鼻咽喉科 まきなえ きみとし
蒔苗 公利
お見かけどおりの若輩未熟者でございますが、全力で大館の耳☆鼻☆のどを守ります！耳鼻科はいつでもみんなのMI☆KA☆TAです！




麻酔科 むらかわ とくあき
村川 徳昭 副院長
地域医療のお役に立てるように頑張りたく存じます。



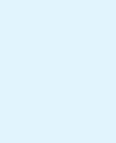
整形外科 じん ひろみち
神 裕道
整形外科医として地域医療に少しでも貢献したいと思ひます。




産婦人科 たかはし ひでみ
高橋 秀身 副院長
市民のために、そして病院のために頑張ります。




麻酔科 たかひら ようこ
高平 陽子
大館市民のみなさまのためにがんばりたいと思ひます。




整形外科 なら おかたぐや
奈良岡 琢哉
いつでも気軽にご相談下さい。




産婦人科 とみうら かずゆき
富浦 一行
地域の皆様にお役に立てる様頑張っております。



眼科 さとう しょうこ
佐藤 章子
昨今の日本の眼科医療のレベルに遅れることなく患者さんに提供できるように、後輩1名、看護スタッフ共々日々努力しております。




泌尿器科 ももせ あきし
百瀬 昭志
透析医療のためにがんばります。




産婦人科 かさい ごういちろう
葛西 剛一郎
「きず」にこだわり腹腔鏡下手術に精力的に取り組んでおります。



眼科 めと きともみ
目時 友美
少しでもお役に立つことができるよう、頑張りたく思ひます。




泌尿器科 なりた さとし
成田 知
地域の皆さんと協力し、よりよい病院をめざします。




産婦人科 かさい あきこ
葛西亞 希子
患者様が満足できる医療の提供を目指しています。気軽に相談下さい。



研修医 つほいけん たろう
坪井 堅太郎
患者さんから様々なことを学びとれればと思ひます。よろしくお願ひします。




泌尿器科 いまい あつし
今井 篤
よろしくお願ひします。



産婦人科 ひらかわ はちだい
平川 八大
来院された方に診療でお役に立てれば幸いです。




研修医 くほ かずとし
久保 一利
よろしくお願ひします。



扇田病院


内科 ふもと こうへい
麓 耕平 副院長
よろしくお願ひします。




歯科口腔外科 ささき ともかず
佐々木 知一
地域の口腔外科疾患、矯正歯科治療に頑張ります。




研修医 すずき
鈴木 かほり
一年目研修医です。精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。




内科 たなか あきひこ
田中 明彦
よろしくお願ひします。




内科 こん だいご
金 大悟
今年1年頑張りさせていただきます。



外科 さとう きみお
佐藤 公生
よろしくお願ひします。




内科 すみよし あきこ
住吉 明子
何でも聞いてください。



内科 あじみね たくま
安次 嶺拓馬
よろしくお願ひします。



眼科 わたなべ えりこ
渡部 永利子
手術は、白内障手術が中心です。



扇田病院医師紹介 扇田病院医師紹介 扇田病院医師紹介 扇田病院医師紹介 扇田病院医師紹介

医師紹介

総合病院

第一内科

はやし まさよし
林 昌功
こすぎ たくお
小杉 拓生
はな た けんじ
花田 賢二

第一内科

よこた たかし
横田 貴志
地域医療のためにがんばります。

第二内科

よしはら あや こ
吉原 綾子
消化器癌で失われる命がすこしでも減るように仕事を続けたいです。

第二内科

おがさわら ひとし
小笠原 仁

第二内科

こぬま ゆずる
小沼 譲
健康で平和で穏やかな日々をみなさまと共にすごすことができますように。

第二内科

あいさわ ひろし
相澤 弘
地域のニーズにこたえられるようがんばりたいと思います。

第二内科

よしだ けんた
吉田 健太
よろしくお願いします。

第三内科

やしろ ひとし
八代 均 副院長
栄養科とタイアップし食事療法の基本から指導しています。

第三内科

いけじま しん
池島 進
地域医療に貢献できるようがんばりたいと思います。

第三内科

かわはら まさゆき
川原 昌之
生活習慣病の指導に力を入れています。内分泌疾患も随時診察します。悩み相談にも応じます。

神経精神科

なかがみ たく
中神 卓
県北の精神科医療に尽力しています。精神科医募集中です。

神経精神科

はたけやま まき こ
畠山 牧子
大館の地域医療のためにがんばりたいと思います。

神経精神科

はしもとこうじろう
橋本浩二郎
地域のみなさまのこころの健康に全力を尽くします。どんなお悩みでもお気軽にご相談下さい。

小児科

たかはし よしひろ
高橋 義博
小児医療とともに、感染症、エイズ対策も担当しています。

小児科

たんだい さとる
丹代 諭
未曾有のことがおきていますが、皆で力を合わせてがんばりましょう。

小児科

つがわ こうじ
津川 浩二
小児医療に少しでも貢献できるよう、がんばりたいと思います。

小児科

いけだ ふみか
池田 史圭
4月から小児科医として勤務しています。お子様が少しでも元気に楽しく毎日をご過ごせるよう、診療に励みたいと思っています。

外科

よしはら しゅういち
吉原 秀一
消化器・乳腺外科を中心に診療しております。常に最新医療を市民の皆様にご提供できるように日々研鑽しております。ささいな体調不良でもがんすることなく近くの医療機関を受診し、必要な時は当病院を紹介してもらって下さい。

外科

おおいし すずむ
大石 晋
悩みは決して一人で抱えこまないで下さい。

外科

なら まさき
奈良 昌樹
心配な事はいつでも相談して下さい。

外科

のぎき つよし
野崎 剛
北秋田市の出身で、地元に戻ることができてうれしく思います。微力ながら地域医療に貢献したいと思っています。よろしくお願いします。

外科

はせべたつや
長谷部達也
よろしくお願いします。

外科

よしだ えり
吉田 枝里
精一杯がんばりたいと思います。よろしくお願いします。

脳神経外科

おおくぼあつや
大久保敦也
地域の脳卒中医療に貢献できるように頑張ります。

脳神経外科

しまだ なおや
島田 直也
少しでも地域医療に貢献できるようにがんばります。

扇田病院です!

放射線科

皆さんは、診療放射線技師という職業を知っていますか？

よくレントゲン技師と呼ぶ人がいますが、レントゲン技師という職種はありません。正式な職種名は「診療放射線技師」といいますので、これからよろしくお願いします。

我々「診療放射線技師」の仕事を紹介します。

皆さんが風邪をひいたり、骨を折ったりした時に、胸部写真や骨の写真、いわゆるレントゲン写真を撮ったり、バリウムを飲んで胃透視を行ったことがあると思います。

このように、X線という放射線を人体に照射して、目に見えない体の中を画像化することが、我々、診療放射線技師の主な仕事です。

実際に行っている検査は、単純X線撮影や透視検査、乳房撮影、ポータブル撮影、骨密度検査、CT検査、MRI検査など、多岐にわたっています。

扇田病院の患者さんは、体の不自由な高齢者が多く、検査時には一人の患者さんに、スタッフ数人がかりで対応することが多いです。

放射線科は、技師4人(1人は嘱託技師で午前中勤務)のスタッフですが、胃透視やCT検査、MRI検査、一般撮影と検査が重なり、待ち時間が長くなるなど患者さんにご迷惑をお掛けする場合があります。

このような中でも、「とにかく患者さんに優しくあれ!」をモットーに、笑顔で接することを心掛けますので、よろしくお願いします。

また撮影室前廊下には、放射線科スタッフが撮影した風景写真や鉄道写真を展示していますので、そちらもご覧いただければ幸いです。



院内 看護の日

扇田病院では5月10日に、「院内看護の日」イベントを実施しました。

高齢化社会を支えていくために、外来受診患者さんを含め、参加されたかたの健康に対する関心を高めてもらえるよう、今年度も食品展示コーナーを設け栄養士がメニュー解説を行いました。「生活習慣病予防」の献立の中でバランスの良い食事とバランスに欠ける食事を比較展示したところ、興味深く質問する参加者もいました。

また、今年度から放射線科の協力を得て骨密度測定を実施し、多くのかたに参加していただき、中には自分の骨密度に驚かされているかたもいました。

さらに食事展示コーナーと合わせて生活習慣病予防を理解していただくため、「血圧」、「体脂肪率」、「体格指数」を測定し、その結果をもとに看護師が生活指導を行いました。「体脂肪率」や「体格指数」は測定する機会が少ないため、多くのかたが興味を示していました。測定したかたの中には「隠れ肥満」タイプのかたが多く見受けられ、日常生活においてバランスの良い食事と運動習慣が大切であると実感されたようです。

来年5月の「看護の日」にも生活習慣を見直す機会として皆さんの参加をお待ちしています。



「全国糖尿病週間」 食事展示と相談を開催します。お気軽にご来場ください。

とき 11月10日(木)~11日(金) ところ 扇田病院1階玄関ホール 問 扇田病院栄養科

外来診療のご案内

医師の都合や手術などのため、休診や受付時間の変更をすることがあります。

～総合病院～

受付時間	初診 午前 8:30～11:00	再来 午前 7:30～11:00
-------------	------------------	------------------

特段の記載がない場合は、上記の受付時間になります。

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考
第一内科	新患	10:30まで	10:30まで	10:00まで	10:30まで	10:30まで	呼吸器の新患は月・火・金。新患は原則として紹介状が必要です。
	再来			休診			
第二内科							新患は原則として紹介状が必要です。
第三内科			甲状腺外来		甲状腺外来	10:00まで	10:00まで
小児科							
神経精神科	新患	受付なし			受付なし		
	再来						
外科							
産婦人科							
眼科		10:00まで	9:30まで	10:00まで	9:30まで	9:30まで	新患は原則として紹介状が必要です。
耳鼻咽喉科							
整形外科			10:00まで				専門外来は予約制。
泌尿器科			予約のみ				
皮膚科				休診	休診		
脳神経外科	新患		10:30まで				新患は原則として紹介状が必要です。
	再来						
放射線科		予約のみ	休診	予約のみ		休診	新患は木のみで紹介状が必要です。
歯科口腔外科							再来は予約制。

※新患は出来るだけ紹介状の持参をお願いしています。

～扇田病院～

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考
内科	午前			8:30～11:00			
	午後			急患のみ			
外科	午前			8:30～11:00			
	午後			2:00～3:30			
整形外科	午前	休診	休診	8:30～11:00	休診	8:30～11:00 (新患・予約のみ)	
耳鼻科	午前	休診	8:30～11:00	休診	休診	休診	
眼科	午前			8:30～11:00			
	午後			検査のかたのみ			
夕やけ診療(内科)	午後	5:00～7:00	休診	5:00～7:00	休診	5:00～7:00	

※皮膚科は当分の間休診となります。

健康・医療講演会

弘前大学大学院医学研究科の主催で「高齢化社会を迎えて」をテーマに、講演会を行います。

とき 10月29日(土) 午後2時から4時まで

ところ ホテルクラウンパレス秋北

内容 「更年期障害」 水沼 英樹氏
(弘前大学大学院医学研究科産科婦人科学講座 教授)
「腰痛」 横山 徹氏
(市立総合病院整形外科部長)

問 総合病院総務課

がん診療市民医学講座

「緩和ケア」をテーマに、講演会を行います。

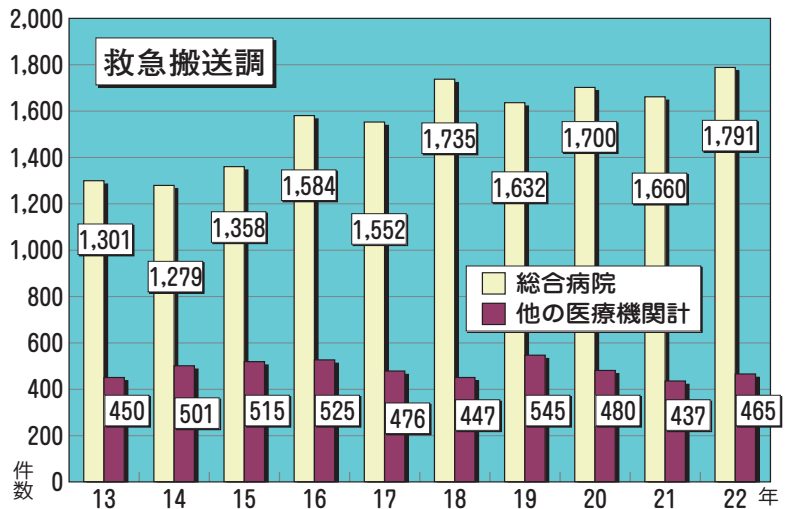
とき 11月5日(土) 午後2時から4時まで

ところ 中央公民館視聴覚ホール

問 総合病院相談支援センター

いずれの講演会も座席に限りがありますので、入場できない場合についてはご了承ください。

このグラフは、大館市消防本部が救急搬送した件数の推移を表しています。総合病院への搬送がこの間490件(37.7%)増加していますが、他の医療機関への搬送はほぼ増減がなく、救急搬送(二次救急)先としては当院の役割が増していることがわかります。



総合病院を初めて受診されるかたは、原則として紹介状が必要です。特に、第一内科、第二内科、脳神経外科、泌尿器科、眼科については、救急の場合を除き、新患は紹介状をお持ちいただいた患者さんに限定させていただきます。また、以前受診されていたか

たでも、その時の病気が治り、継続して受診していない場合は、新患と同じ扱いになります。現在受診している医療機関が無い患者さんの場合、初めに近くの開業医の先生を受診し、かかりつけ医として健康上の様々な相談をされることをお勧めします。

紹介状をお持ちください

お願いする理由があります

これは、総合病院が地域の中核病院として、二次医療や救急医療など、入院設備や整備している医療機器の関係で地域の医療機関では対応ができない部分の医療を担うことに重点を置いているためです。

大館、鹿角や北秋田圏域は県内でも特に医師数が少なく、他の二次医療機関(かつの厚生病院や北秋田市民病院、秋田労災病院)でも医師不足のため休診する診療科があり、**救急患者や重症の患者の多くが総合病院に集中する傾向が続いています。**初期の医療(二次医療)と入院が必要な医療(二次医療)を、地域の医療機関の先生方と総合病院の医師が役割分担して協力していかないと、**救急医療や高度医療などを必要とする患者さんに、十分に提供できなくなる心配があるためです。**

大館市の医療は、総合病院と地域の医療機関と市民の皆さんの連携と協力で持続可能なものとなります。皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

病院ボランティア募集

総合病院では、「病院ボランティア」を募集しています。内容は、①外来の案内、②再来受付機の操作案内、③車椅子の介助などです。患者さんが快適に受診できるように、お手伝いをしてみませんか？お申し込み・お問い合わせは、相談支援センター(TEL 42-5370 内線5245 担当: 齊藤)まで。ご連絡をお待ちしています。

編集後記

また暑い夏がやって来ました。この第4号で創刊からちょうど1年になります。無事継続刊行出来てほっとする反面、つたない点も多く反省する事しきりです。まだ震災の余韻は大きく中々満面の笑みとはいかない毎日ですが、早くすべての人に平安が戻りますように。皆さんの願いが届きますように、叶いますように…そう祈りを込め、今後もうさらに充実した紙面を目指して参りたいと思います。 編集委員長 蒔苗 公利